

◆日本共産党の見解を紹介します。  
<http://toride.jcpweb.net>  
 メール [jcp.toride@blue.ocn.ne.jp](mailto:jcp.toride@blue.ocn.ne.jp)  
 ◆ご意見、ご要望をお寄せください。

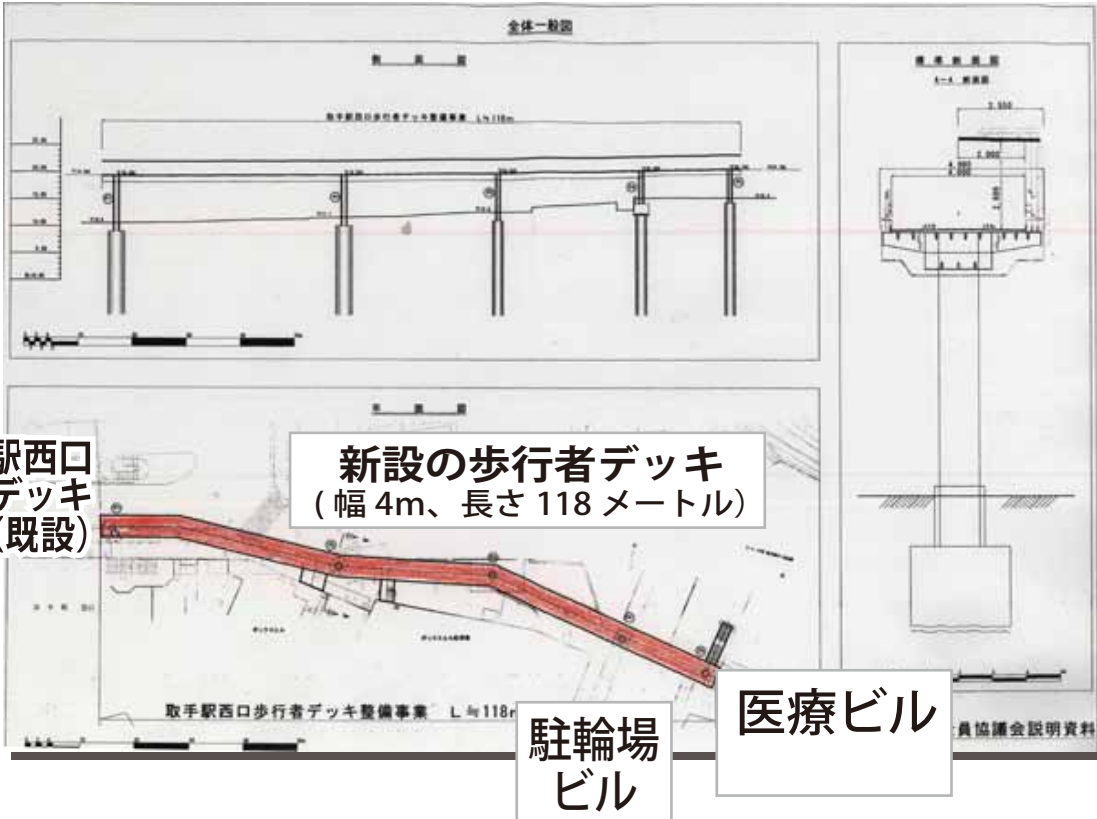
# 明るい取手

2012年9月2日(日)  
 発行:日本共産党取手市委員会  
 取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を  
 ■高木晶市委員長/TEL:74-2004  
 ■加増みつ子市議/TEL:74-8154  
 ■遠山ちえ子市議/TEL:83-8290  
 ■鈴木きよし市議/TEL:74-8160  
 ■関戸 勇市議/TEL:78-0500

取手駅西口開発・「ウェルネス・タウン取手の創造」

## 「歩行者デッキ」建設費、当初計画より2.2億円増 7.7億円、1メートル当たり653万円



市議会全員協議会では、「ウェルネス・タウン取手の創造」計画に含まれる取手駅西口前に取手市が進める「歩行者デッキ」、「駐輪場ビル」の事業費と設計図が示されました。

「歩行者デッキ」の建設費は7.7億円です。これは昨年7月に取手市が示した事業費より2億2000万も増えています。

「歩行者デッキ(幅4mX長さ118m)1メートル当たりで653万円…どうすればこんなに高いものになるのだろうか」との声も出されています。

計画が進むたびに膨れ上がる建設費、市民へのしつかりとした説明が必要です。

【参考】「国土交通省発表による高速道路1キロメートル(幅25~30m)建設費平均は36.5億円。『歩行者デッキ』より6倍も広い高速道路でも1m当たり365万円」です。

### 民間「医療ビル」につなぐ歩行者デッキ

「歩行者デッキ」設計の概略図によれば、「歩行者デッキ」は取手駅西口デッキから「医療ビル」(松本眼科が建設予定)に接続されます。

膨れる建設費、多額の税金をつぎ込んで、「歩行者デッキ」建設の目的はどこにあるのでしょうか。

### 駐輪場ビルにも問題が…

詳細は次号の「明るい取手」で。

「ウェルネス・タウン取手の創造」に関する請願が市民有志から、9月定例会市議会に向けて提出されました。

- 「(仮称)ウェルネスプラザ整備計画(案)」関係予算の執行停止を求める請願
- 財政(資金)計画が大幅に変更(拡大)された「ウェルネス・タウン取手の創造」に関する請願

### 総事業費約38億円が約46億円に 不透明な事業計画、事業費はうなぎ上り

#### 全体で8億円も増

- 「歩行者デッキ」の事業費  
5億5千万円 → 7億7千万円
- 「駐輪場ビル」の事業費  
5億6千万円 → 6億4千万円
- 「ウェルネスプラザ」の事業費  
7億円 → 12億円

8月20日、市議会全員協議会の中で、当初(昨年7月)約38億円と公表されてきた「ウェルネス・タウン取手の創造」総事業費が、約46億円に膨れ上がったことが明らかになりました。

市長は、「歩行者デッキ」及び「自転車駐車場ビル」建設のための一部補正予算を9月議会に提出するとしています。

180件の意見が寄せられた「ウェルネスプラザ計画」の市民意見公募(パブリックコメント)を呼びかけた取手市広報(7月1日付)には、事業費などは掲載されていませんでした。

全体計画と事業費について市民に正確な情報が知らされないまま、事業を進めることは大問題です。

### 小学校なくすな!の声、続々…(声は裏面にあり)

9月定例会市議会は  
9月5日(水)~

一人で悩まずに お電話を  
電話 72-7816 生活相談・労働相談

弁護士無料法律相談/9月15日(土)午後2時~  
ご予約を 場所:取手市福祉会館

# 小規模校でこそ、豊かな教育ができる。財政優先で小学校を地域からなくしていいのか。

日本共産党が実施した「小学校統廃合」(井野、小文間地域)に関するアンケートや党事務所に寄せられた市民のみなさんのご意見の一部を紹介します。(紙面の都合上、文中一部を略させていただきます。ご了承ください)「小学校統廃合」はまだ決まったわけではありません。国の通達では「無理な学校統廃合の禁止と住民の合意を得て」となっています。地域説明会などでしっかり意見を出しましょう。

■昔人間の私は、小学校は5～6km以上の山道を通いましたが、熊出没や台風などは危険でしたが、それ以外の人による犯罪とのかかわりなどありませんでした。でも今は世の中が物騒で、遠距離通学となると、親も子も大変な負担となるでしょう。商店の激減で、井野地域は夜は人通りも少なく、一般住民の安全面も大変不安があります。

学校というのは、子どもが勉強する場所であると同時に、子どもを中心として家庭や地域社会の人たちが、人間として学び成長していくための「核」となる場所と考えます。学校区ごとに公民館がおかれ、自主的な活動の場となっているのもそのためだと思います。学校をなくすということは、その地域全体を抹殺することにつながると思います。子どもが少なければ、目と手を充分にかけることもできる。教室が余れば有意義な使い道を考えればよい。学校は、大切な市民の財産のひとつです。健全な社会を望むなら、安易に切り捨てるべきではないと思います。(女性 60代)

■通学時間の平均化や学区の簡素化の面もあると聞いたので、全くダメとは言えない。ただ母校がなくなるのは少々寂しい気もする。(男性 20代 井野団地)

■小学生の体力が(低学年の)分かっていない。通学路の防犯が心配、田んぼ道で見通しがよいと思っているが、他町村でも多くの事件が起きている。(略)通学距離が遠くなった事により、井野団地の住民の入居者も少なくなり人口減になってしまう。大規模校(吉田小への統合)になると一人一人の児童に目が届かずいじめ問題もある。(略)井野小は学校の規模としては最適である。私は約40年小中に勤務していた経験から担任が自分のクラスばかりでなく同学年のクラスの児童をよく知りつくし児童一人一人を支援することが出来る。(女 70代 井野団地)

■ただでさえ井野団地はお年寄りが多いのに学校が遠くなったら、そのような団地に住む若い子育て世代は住まなくなる。(略)通学路は車が多く危険。子どもの事なんか考えていない。統合してコストは減らせるが納税者の若い世代を子育てが不便で住みたくなく、税収は上がらない。「ウエルネスタウン」なんて無駄なものを作るならもっと子育て世代が住みたくなくなる町づくりをして納税者を増やす方向で考えるべき。取手は衰退してゆくばかりで、長く住もうと思わない。(女性 40代 井野団地)

■街の中に小学校もないのではおかしいと思います。児童が一人もいなくなった訳でもないのに、子どもに無理を強いる政策が理解できません。子どもが成長していく姿を、住民みんなで手助けし、見守って行く街であるべきだと思います。(略)高齢社会が進んでいる今、若い人が住みたいと願う街にすべきだと思います。(女性 70代 井野団地)

■生徒が少ないのなら教師もクラスも減らすのは当然。避難場所としてコミュニティの拠点とし必要なら別に学校で無くても良い。教員の数を減らして通学バスを動かせばよい。子供の人数が減っているという事は異なる需要が増えているはず。需要の減っている場所に金を掛け続けることは無意味と判断する。過去の倒産した企業は需要が無い所に投資したのだから当然の考えだと思う。正直、子供がいないので状況を把握していない。小学校の存続を願うなら経済では覆せない大きいメリットを訴えるべき。企業とは製品設計の段階で安く高性能でも見栄えが悪くなれば売れないとして、悪い性能を取ることもある。(男性 30代)

■すし詰め教育はしない方がよい。1クラス30人ぐらいのゆとりのある教育をした方がよい。(女性 70代 井野団地)

■井野団地は緊急避難所が今、井野小以外に何処にあるのですか? 3.11の時、団地の住民、特に独居の高齢者は電気も止まり、肌寒い、心細い、行く当てもなく団地の公園にうずくまっていた人が何人もいました。何処に避難したらいいのか分からない…井野小は真っ暗で誰もいない。団地の高齢者は「取手1中」まで思いつかない。どうなっているのか?と不安。(略)(女性 40代 井野団地)

■少人数だったのが、多人数になり、今問題の「いじめ」の問題が増すのではないかと思います。先生の目が届かず、○学校から来たなどと友達関係も問題になると思う。(女性 60代 井野)

■子供が少なければ、先生達の目が行き届き、(略)心温かな子に育てるためにも少人数の方が良いと思う。そして使っていない教室は、お年寄りとか障害者の人たちに開放して地域全体の活性につなげる為にも、小学校は残すべきだと思う。(女性 60代 小文間)

■井野小近くの子は遠い。井野小を無くして吉田小に校舎を建てる(増築)と言う事はなぜなのか!(女性 70代 井野)

■小学校は保護者の活動も多い。自宅近くにあってほしい。いじめの問題を考えても、マンモス校では、先生の目が行き届かない。特に子供が小さいうちは600人近い学校にするべきではない。

3月11日の大震災の時に、井野小の校庭に子供達が集まった時、逃げ遅れた子はいないか、足りない子は誰かと先生が確認しているのを見ながら、特に小学校は、先生の目が行き届くくらい的人数で有るのが好ましいと感じた。井野小は200名程度。避難するのも、移動するのも保護者に連絡を取るのも、また保護者がすぐ来られない子を預かる手配もそう時間がかからずにすみましたが、これが統合され600人に、なったらと…と思うとぞっとします。また、学校が遠くなれば、車で来る保護者が増えます。(略)地震など災害の時はどうなるか…小さい子を1か所に集めるのは、止めた方がよいです。井野小は働いているお母さんが多い学校です。(略)吉田小と統合して、子供の数が増えたら、放課後の児童クラブはどうなるのでしょうか。児童クラブから1人で帰宅する子もいます。学校と自宅が離れてしまうのは、親にとってはとても心配です。(女性 40代 井野団地)

■井野小が近いから家を買ったのに。(女性 40代 井野)

■旧取手1中も無くなり、人の流れが無くなるにはかえって物騒になる。(女性 40代)

■小学校は幼い鼻たれ小僧の時代の思い出残る場所で、地域の中核となる場所である。明治6年、先人が苦勞して小文間小を設立した時、生徒数は男20女4名とされている。(当時6～13歳は男女合わせて262名いたが、そのうち入学したのは24名)これを見ても現在の少人数化の中で安易に統合するのは、経済的発想に偏っていると言える。教育を重視した先人の哲に学ぶべし(「小文間小学校120年の歩み」34ページの記述)。(男性 60代 小文間)

■統合は少子化の傾向の中、容認しなければいけない面もあると思います。より強く考える点は、通学の安全性だと思います。今の道路事情では安心して歩ける道路が少なすぎます。小学生は友達とふざけ合ったりして歩く方が普通の事ですので、広い道、車の規制(これまでの常識から計ることができない程度の厳格)が強く必要かと思っています。事故があつてからでは遅いと強く思います。(男性 40代)